

第○学年 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

令和○年○月○日(○)
 指導者:教諭 ○○ ○○
 指導教室:○年○組教室

技術・家庭科は「題材名」。

1 題材名

「目的に応じた衣服の選択」 <:B衣食住の生活(4)ア(ア), イ>

学習指導要領解説を確認し、内容、項目、指導事項を記入する。(記号のみでも可。)

2 題材の目標

- (1) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解する。
(知識及び技能)
- (2) 衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。
(学びに向かう力、人間性等)

- ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の目標を記入する。
- ・文末は、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」は「～する。」「身に付ける。」等、「学びに向かう力、人間性等」は「～しようとする。」と表記する。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。	衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

- ・題材で扱う内容について、内容のまとまりごとの評価規準を記入する。
 ※異なる内容を扱う題材（例：AとBなど）を設定した場合は、両内容について記載することに注意。
- ・文末の表現は「～している。」「～しようとしている。」

国立教育政策研究所『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 中学校技術・家庭』P.83「(3) 題材の評価規準の設定」を参照する。

4 題材について

(1) 題材観

○○○○○○○……

- ・題材と内容，項目，指導事項との関わり
- ・題材の内容や選んだ理由，教材の系統性
などについて記入する。

(2) 生徒観

○○○○○○○……

- ・レディネスから分かった生徒の実態と分析
- ・教材や題材に対する生徒の受け止め方
- ・この題材を通して育てたい生徒の姿
などについて記入する。

(3) 指導観

○○○○○○○……

- ・指導の意図や見通しなど
- ・「題材の目標」達成のための指導や手立ての具体
などについて記入する。

(4) 研究主題との関連

○○○○○○○……

- ・研究の視点と，視点からの手立て等を記入する。
※不要の場合は省略

5 題材の指導と評価の計画

- | | |
|------------------|-----------|
| (1) 衣服で伝わるメッセージ | 1 時間 (本時) |
| (2) 自分らしくコーディネート | 1 時間 |
| (3) つなげよう和服の文化 | 1 時間 |
| (4) 上手な衣服の選択 | 1 時間 |

小 題 材	時 間	○ねらい ・学習活動	評価規準 ・ 評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
衣服で伝わるメッセージ	1 本時	○衣服の社会生活上のはたらきが分かる。 ・普段の衣服の着方を話し合い，社会生活上のはたらきについて3つに分類する。	①衣服と社会生活との関わりが分かり，目的に応じた着用について理解している。 ・ワークシート	①衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ・ワークシート	

自分らしくコーディネート	2	○個性を生かす着方が分かり，工夫する。 ・衣服選択のシミュレーションをとおして，課題を解決する衣服の選択を構想する。	②個性を生かす着用について理解している。 ・行動観察 ・ワークシート	②衣服の選択について考え，工夫している。 ・ワークシート	①衣服の選択について，課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・行動観察 ・ポートフォリオ

【ねらい，学習内容】

- ・学習内容の主語は「生徒」。

【評価規準・評価方法】

- ・「3 題材の評価規準」に記入した内容のまとまりごとの評価規準を，学習活動に即して具体化する。
- ・「思考・判断・表現」については，次の四つの評価規準を設定する。①「～について問題を見いだして課題を設定している」，②「～について（実践に向けた計画を）考え，工夫している」，③「～について，実践を評価したり，改善したりしている」，④「～についての課題解決に向けた一連の活動について，考察したことを論理的に表現している」である。これらを題材構成に応じて適切に位置付ける。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」については，次の三つの側面から評価規準を設定する。①「～について，課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている」，②「～について，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている」，③「～について工夫し創造し，実践しようとしている」である。これらを題材構成に応じて適切に位置付ける。
- ・評価規準ごとに，「Aとする状況」「Cの状況の生徒への支援」を記入することも考えられる。その際は，本時の指導計画と照らし合わせ，相違ないようにする。

国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 中学校技術・家庭」P.84「(4) 題材の評価規準の学習活動に即した具体化の検討」を参照する。

6 本時の指導

(1) 小題材 「衣服で伝わるメッセージ」

(2) 本時のねらい

- ・衣服と社会生活との関わりが分かり，目的に応じた着用について理解する。
- ・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定する。

(3) ねらいに迫るための手立て

- ・ ○○○○○
- ・ ◇◇◇◇◇

・ 本時のねらいに迫るための主な手立てを記述する。
 ・ 「どこで」「どのように」「なぜ行うか」等、具体的に記述する。

(4) 本時の指導過程

小題材名「衣服で伝わるメッセージ」 (1/4時)

段階	学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点等	評価規準 【評価方法】
導入 □分	1 ・ ・	<ul style="list-style-type: none"> ・○○することで、□□させる。 ・○○させることで、□□する。 ・○○させるために、□□する。 	□…… 【ワークシート】
	2	本時の課題（めあて）	
展開 □分		本時の手立て (簡潔に)	□…… 【ワークシート】
まとめ □分			

(5) 本時の具体の評価規準

本時の評価規準	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用について理解している。(知識・技能)
「十分満足できる」と判断できる生徒の状況	○○○○○……
「努力を要する」状況と判断される生徒への手立て	◇◇◇◇◇……

・ 「本時の評価規準」は、本時で達成したい生徒の具体的な姿（おおむね満足できる姿=B）を記述する。
 ・ 「『努力を要する』状況と判断される生徒への手立て」は、Bを達成するための具体的な手立てを記述する。

(6) 本時の板書計画

(7) ワークシート, 座席表等